

## 「温暖化防止・ストリート」の由来

このストリート（街角）で温暖化防止について語り、情報や人の環が広がっていくことが、温暖化防止への道（ストリート）につながることを願っています。一緒に歩いてみませんか。

気候ネットワーク

～わたしたちはめざします～

1. 抜本的な国内対策で京都議定書の6%削減を！
2. 環境重視の社会経済システムを！
3. 市民・地域主導で温暖化防止の促進を！
4. 政策決定プロセスに市民の参加と情報公開を！
5. 南北の公平をめざし、南の人々と連携を！

## 目次

- ・用語解説  
「京都議定書採択？ 批准？ 発効？」…P.1
- ・団体会員紹介  
「気候ネットワーク・高知」……P.2
- ・会員の声・こんなことできる……P.3
- ・自然エネルギー学校・京都 受講生募集本の紹介・ボランティアの声……P.4

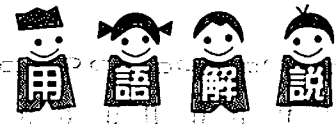


気候ネットワークの会員同士のつながりを強め、その環を一層多くの人に広げたいと思い、この「温暖化防止・ストリート」を発行していきます。

第2号  
2003.7.1

よく聞くけど

「ん？」何だったかなーっと思う



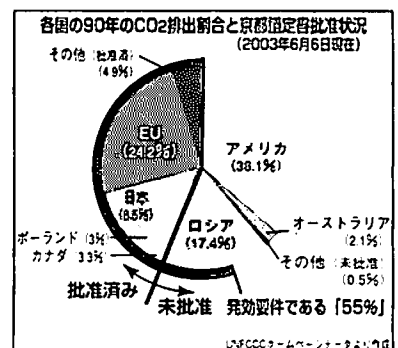
## 用語：京都議定書 採択？ 批准？ 発効？

「COP3で京都議定書が採択され、昨年日本が批准したけどまだ発効していない」という文を見たり聞いたりしますが、どういう意味でしょうか。

1997年に開催されたCOP3で、参加国が合意し、京都議定書が策定されたことが「採択」されたということです。しかしながら、議定書として国際法上の効力をもつためには「発効」する必要があります。京都議定書は、

(1) 気候変動枠組条約の参加国（途上国も含む）の55カ国以上が批准、(2) 1990年の先進国のCO<sub>2</sub>排出量の55%に当たる国々が批准（右グラフ）、という2つの条件をみたしてから90日後に発効されます。「批准」というのは国が正式に議定書の受け入れを決定することです。日本の場合、国会が承認し内閣が批准することになります。

2003年6月6日時点では、すでに110カ国が批准しています。(2)の条件については、43.9%になっています。17.4%を占めるロシアが批准すれば55%を超え、発効の条件を満たすこととなります。ロシアは、昨年のヨハネスブルグ・サミットで批准を表明したにも関わらずいまだに批准していません。ロシアが一刻も早く批准するようロシア政府に直接あるいは日本政府を通じて訴えていきましょう。



この用語に関する関連記事を気候ネットワーク通信31号の2面に掲載しています。

# 各地で活躍する仲間たち

気候ネットワークの団体会員の紹介です。



★ 高知

今回は、高知県南国市にある、「気候ネットワーク・高知」の紹介です。代表の松本和子さんから紹介していただきました。



松本和子さん

「地球温暖化防止のために私たちにできることは？」をテーマに活動を続けている「気候ネットワーク・高知」では、今年の大きな取り組みとして、高知県の委託を受け「環境にやさしい暮らしづくり推進事業」を進めています。これは昨年、気候ネットワークの木原さんを講師に迎え、私たちが県といっしょに行った地球温暖化についての研究会の第2弾ということになります。今回の事業の内容は、

(1) 環境家計簿の原案を作り、(2) 6月に県下4ヶ所でブロック別説明会を開き、地球温暖化について学習し、環境家計簿の付け方講習をする、

(3) 9月から10月にかけて県下4ヶ所でのブロック別研修会、(4) 翌年2月から

3月には県下2ヶ所で意見発表会を行うというものです。これらが気候ネットワーク・高知の担当です。ほかに環境問題講演会、環境先進地視察を高知県が担当します。

予算の関係で気候ネットワーク、京都と東京事務所のスタッフには無理をいって講師のお願いをしました。おかげでかねてからしたいと思っていた「炭素税」の学習会も同時にできそうです。今、少数の会員で準備に大忙しの毎日です。県との打ち合わせや高知県の交通事業などもあって実際に活動できるのは昼間で、仕事をもっていない専業主婦や定年後のひとたちで進めています。中心になっているのはかつて生協運動をいっしょにしてきた仲間です。

気候ネットワーク・高知が取り組んでいるもう1つ。昨年、～環境の世紀へ、変えよう！キャンペーン

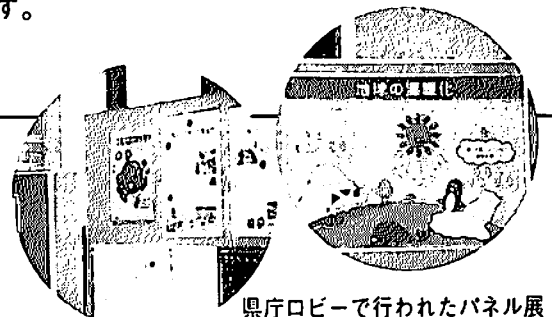
第2弾～「環境に良いものを選ぼう！キャンペーン」に賛同して高知市とその周辺の電気店アンケートを行いました。その結果をもとに、高知県の電気商業組合と協力して「省エネラベル」の取り組みを進めています。あるとき電気商業組合の理事長にお会いする機会がありました。このキャンペーンのことを話しますと「ほんとうは我々が率先して行わなければならないこと。価格競争ばかりに目を向けてはいけないのだと思います。」と私たちの活動に共鳴してくださいました。省エネラベルという形にならなくても、良い協力関係で運動が進んでいきそうです。



「環境にやさしい暮らしづくり推進事業」の準備作業の様子

最近のことですが、環境をテーマとするイベント「わくわくドキドキ・エコパーク」が高知市で開催されました。地球温暖化防止の担当部署でもある高知県文化環境部の職員有志らが費用を持ち寄って開催された手作りのイベントです。さまざまなコーナーが設けられ、環境〇×クイズ、草笛コンサート、フリーマーケット、利き水コーナー、家庭でのCO<sub>2</sub>排出量を記入する環境家計簿の紹介コーナーなどが準備されました。

当日はどしゃぶりで、「誰のせい？」などのにぎやかな声で始まり、降ったりやんだりの中ままずの参加で無事終わることができました。私たちがうれしかったのは、行政の方が市民団体をまきこみ、このような手作りのイベントを進めてくださったことです。これからますます充実したものになるよう私たちも積極的に参画していかなければと思っています。



県庁ロビーで行われたパネル展

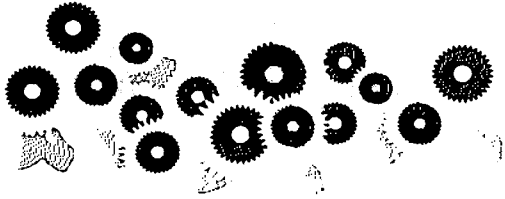
気候ネットワーク・高知

〒783-0023 高知県南国市廿枝1100  
TEL/FAX: 088-864-0349 (松本和子)

Aさん (千葉県)

私自身は、温暖化防止の動きを良く知らないけれども関心がある者です。数年前に地元の市川市にて第3期市川市環境市民会議の委員となった際に、テーマが「市民がすすめる地球温暖化防止」でしたので、本分野について地域で語り合った経験があります。その時の印象からすると、毎月送っていただく気候ネットワークの会報は一般にはやや難解なものではないかと思っておりました。もちろん、温暖化問題は多岐にわたりますし、元々難解な分野であるでしょうから、読み手が勉強する必要もあるのかもしれません。とはいえ、一方で、より多くの方へわかりやすい情報を提供することは大切だとも思っておりました。その意味で今回の「ストリート」はわかりやすくまとめてあり、温暖化問題を考える第一歩のものとしてたいへんいいのではないかと思います。

活動はたいへんだと思いますが、これからも頑張ってください。



藤井あゆみさん  
(島根県)

私の住む島根県大社町から車で15分。日本海に面した国道9号線沿いの小高い丘の上に、二基の風車が風をいっぱいを受けて回っています。ここは島根県多伎町の「キララ トューリマキ発電所」。町の新エネルギー開発事業として、850kWの風車が二基、今年の2月から稼働し始めました。総発電量は年間280万kWh、町全体電力量の約15%に相当します。

日本海、夕日、山の緑、空の青、そして白い風車の色のコントラストは絶妙です。国道沿いの道の駅、海水浴場、宿泊施設が隣接していることもあり、週末には風車を見に来る人でいっぱいになります。まさに「風車で町が活性化されている」という事例を、こんなにも近くで目にするのができ感動しています。

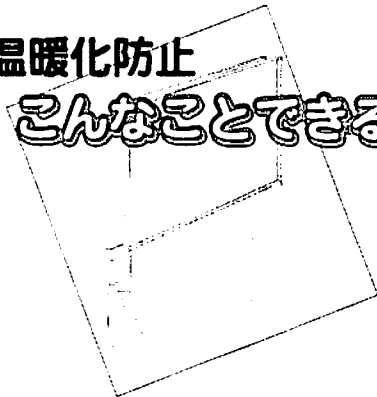


皆様のご意見・自由なご発言を募集しております。皆様の声を遠慮なくお寄せください。次号は、9月発行ですので、8月20日までにこの連絡ください。



温暖化防止

こんなことできる!



このコーナーでは、「家庭・個人」・「地域・グループ」のできる効果的な温暖化対策を紹介していきます。

今回のテーマは「ペアガラス」

最近よく耳にする「ペアガラス」。どれくらいの断熱効果があり、どのように家庭に取り入れることができるのでしょうか?

ガラスはとても熱を通しやすい素材で、冷暖房時にはかなりの熱が窓から逃げてしまっています。

そこで注目されているのが、「複層ガラス(ペアガラス)」です。これは、二重のガラスの間に乾燥空気等の層を設けたもので、普通のガラスに比べて約6割の熱が通しません。複層ガラスの内部に特集金属膜をコーティングしたものもあり、断熱性能はさらに高まります。また、2枚のガラスの間に真空層を設けた「真空ガラス」もあり、これだと通常のガラスの25%しか熱を通しません。

どれも、専用のアタッチメントを利用することで既存のサッシをそのまま使うことができます(場合によ

っては使用できないこともあります)。もちろん、サッシも同時に断熱化したほうが効果ははるかに大きくなります。

新築時だけでなく、リフォーム時にもぜひ、窓の複層化を検討してみてください。冷暖房費を抑えることができるだけでなく快適性もはるかに高まりますし、結露を防ぐなどの効果もあります。このため寒い地域で普及が進みつつあります。家の窓全てを複層化するとおよそ100万円という金額がかかるそうですが、それだけの価値はあるのかもしれませんが。

なお、複層化すると遮音性能も高くなりそうな気がしますが、周波数によっては共鳴がおこって余計に音を通してしまうこともあるそうなのでご注意を。

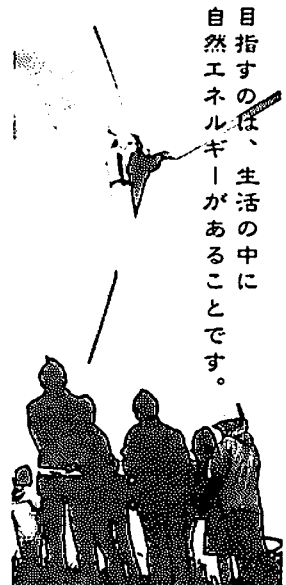
木原浩賢(気候ネットワーク)

# 第5期 自然エネルギー学校・京都 受講生募集!

1999年に「自然エネルギー学校・京都」を開始し、テーマや内容も少しずつ変更しながら、これまでに4期実施しました。修了生は100人を超え、それぞれが、自宅で自然エネルギー設置に取り組んだり、他の地域で自然エネルギー学校を開校したり、と実際の活動につながり、ネットワークも広がりつつあります。

今年も第5期として実施します。新しいスタッフも加わり、新たな気合いを入れて臨んでいます。今年は、どのような方が参加して下さるのか、スタッフ一同胸をワクワクさせています。ぜひご参加ください。

- ◆日程：2003年8月～2004年1月（全6回、土曜日に開催、第3回のみ宿泊（土・日）見学）
- ◆会場：京エコロジーセンター（京都市伏見区）・第3回のみ三重県久居市
- ◆定員：30名（先着順、原則として全回参加可能な方）
- ◆受講料：一般 20,000円、会員・学生 18,000円（6回分・宿泊費含む）
- ◆主催：気候ネットワーク・環境市民・エコテック
- ◆申込み・問合せ：気候ネットワーク京都事務所（担当：岡優子）  
〒604-8124 京都市中京区高倉通四条上る高倉ビル305  
TEL：075-254-1011 FAX：075-254-1012 E-mail：kikonet@jca.apc.org



目指すのは、生活の中に自然エネルギーがあることです。

※詳しい日程、内容につきましては事務局までお問合せください。

お勧めの本の紹介です。

## 本の紹介

### 「環境を守るほど経済は発展する」

倉阪秀史 朝日選書 2002年6月25日第1刷発行

副題は「ゴミを出さずにサービスを売る経済学」で、帯には「今の経済学じゃ地球は救えない」と書いてあります。「環境と経済の関係にはあるけど、環境経済学の本は難しくって」と思っている人にお勧めの、とてもわかりやすい本です。環境の限界が見えている中で技術に期待できるかを考え、「自然」「土地」「物」を忘れてしまった経済学の問題点を解説し、求められる経済学・経済政策を具体的に示しています。



<本体1200円 247ページ>

### 紹介者：畑直之（気候ネットワーク）

東京で炭素税のプロジェクトを中心にやっている畑です。毎日東京の都心を自転車と地下鉄で移動してエコにNGO活動しています。でも夜型の生活はエコじゃないという声も…。趣味は映画や温泉などです。これからも温暖化防止にがんばります！



↑  
Tシャツがおそろいの畑（右）と木原（左）。ちなみにTシャツは「COP6Tシャツ」です！

## ボランティアの声



気候ネットワークでは  
たくさんのボランティアが  
一緒に活動しています。  
そのボランティアからのコメント！

東京ボランティア 武藤拓馬さん

今年でボランティア歴3年目になる武藤拓馬です。武蔵工業大学3年で、太陽電池の勉強をしています。将来は太陽電池の研究者になり、現在の半額で太陽光発電システムが買えるようにしたいです。私の居る東京事務所は若干狭い感じもしますが、手を伸ばせば資料が取れたり、駅から1分もかからずに着くという抜群の立地条件でとてもいい事務所です。ぜひ、1度遊びに来てください。これからも平田さんのもと、頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願ひします。

## 編集後記

前回のストリートのご意見をいただくことができ、とてもうれしく思っています。個人的にも各地のいろいろな取り組みや活動をもっと知りたいと思っていますし、読んでいただいている皆様にも伝えていきたいと思っていますので、いろいろな情報をお寄せください。お待ちしております。

今回、「会員の声」は、バツとひらめいて季節を取り入れた「はがき風」にしてみました。いかがでしょうか？

それでは、また次回のストリートでお会いしましょう！

(おかゆ)



特定非営利活動法人 気候ネットワーク

代表：浅岡美恵 / 副代表：須田春海 / 事務局長：田浦健朗

URL：http://www.jca.apc.org/kikonet/

「温暖化防止・ストリート」2号  
2003年7月1日発行（隔月1日発行）  
編集・DPT：岡優子

京都事務所（本部）  
〒604-8124 京都市中京区高倉通四条上る高倉ビル305  
TEL：075-254-1011 FAX：075-254-1012  
E-mail：kikonet@jca.apc.org

東京事務所  
〒102-0083 東京都千代田区麹町2-7-3半蔵門ウッドフィールド2F  
TEL：03-3263-9210 FAX：03-3263-9463  
E-mail：kikotko@jca.apc.org

本誌100%の用紙に大豆インクを使用し、電力発電による自然エネルギーで印刷しました。



郵便振替口座：00940-6-79694（加入者名：気候ネットワーク）  
銀行振込口座：東京三菱銀行 京都支店 普通口座 1370852（気候ネットワーク）